

神戸への船中少女に頼まれ探しもの

デブ猫「マル」五国巡る

神戸新聞で4月からスタートする創作童話「かなしきデブ猫ちゃん」。愛媛県内を旅した主人公で3歳のオス猫「マル」は、ここ兵庫でも個性豊かなキャラクターや忘れられない景色に何度も遭遇します。さて、どんな旅になるのかな？ 作家の早見和真さんが、ちょっとだけストーリーを教えてくださいました。

4月開始「兵庫編」ストーリーは…

愛媛編第3シリーズの最終回（1月1日）でマルは、「広い世界を見てみたい」と故郷の愛媛県を飛び出します。向かったのは五つの国（摂津、播磨、但馬、丹波、淡路）からなる兵庫県です。物語の冒頭、愛媛から神戸へと向かう船の中でマルは、一人の少女と出会います。そして、ある探しものを頼まれます。マルは鼻先を触りながら言います。「任せてよ。何せオレはここが効くから」

広い兵庫を西へ東へと駆け巡るマル。旅の途中、多くの奇想天外なキャラクターたちとも出会います。教会で歌う猫の聖歌隊▽天空に大きな翼をはためかせるコウノトリ▽おかしな口調で話すタコ…。出会いと別れを繰り返して、兵庫五国を巡った末に、マルが見つけたものとは…。心躍る冒険の始まりは、もうすぐです！（前川茂之）

「デブ猫ちゃん」は4月中旬から、神戸新聞朝刊で毎週土曜に掲載します。お楽しみに！



「かなしきデブ猫ちゃん」愛媛編より
(絵・かのうかりんさん)

「心震える場所」探して 早見さん県内取材

兵庫編の取材は既に始まっています。早見さんは昨年11月に兵庫入りし、淡路島→神戸（摂津）→播磨→但馬→丹波→阪神（摂津）と兵庫県内をぐるりと巡りました。

早見さんが取材で最も大事にしているのは「心が震える場所かどうか」。有名な観光地だけでなく、地

元の人でも知らないようなほこらや景色を見ては「もし、ここにマルがいたら」と想像を膨らませます。

読者の皆さんからも、マルに行つてほしい場所を募集する予定です。いつもの場所もマルの目を通せば、全く違う風景に見えるかもしれせんね。

日本海にある奇岩「カエル岩」(香美町)



兵庫県内を取材する早見和真さん

魚の棚商店街(明石市)



姫路港(姫路市)